

第15回企業短観調査 (2020年4月)

調査結果

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	5 (12.8%)
建設業	254	37 (14.6%)
小売業	506	33 (6.5%)
サービス業	382	45 (11.8%)
製造業	122	27 (22.1%)
全業種	1,303	147 (11.3%)

考察

●売上・収益ともに前回調査と同じく「減少」が大きな割合を示した。新型コロナウイルスの影響が顕著になってきたものと考えられる。今後の見通しについても売上・収益ともに「減少」が8割を占めており、先行きの不透明さから不安感が伺える。一方で、売上が増加したのは小売業（スーパー）のみにとどまり、外出自粛に伴い、外食を控えていることが伺える。

●資金繰りについては「変わらない」が最も高い割合を示しているが、新型コロナウイルスの影響が長期化するに伴って、今後「苦しい」状況が増加していくことが予想される。

●人手については「適正」が最も多かったが、今後の感染状況次第では事業の縮小による人員削減等により「過剰」状態に転じていくことが考えられる。

